

第7回麻生区区民会議

- 1 開催日時 平成21年12月15日（火）午後3時00分～午後5時12分
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]
天野委員、飯塚委員、伊藤委員、碓井委員、神本委員、鴨志田委員、小坊委員、下八川委員、谷川委員、西谷委員、根占委員、守田委員、山崎委員、渡邊委員、矢野委員
(欠席) 市川委員、尾中委員、梶委員、菅原委員、寺川委員
[参与]
花輪参与、山口参与
(欠席) 雨笠参与、伊藤参与、尾作参与、勝又参与、山崎参与、相原参与、吉田参与
[事務局]
磯野区長、板橋副区長、荻原企画課長、入口地域振興課長、阿部企画課主査

4 次 第

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) 調査審議課題について
 - ア 地域交流部会の検討経過報告及び意見交換について
 - イ 環境部会の検討経過報告及び意見交換について
 - ウ 企画部会の検討経過報告及び意見交換について
 - エ 第1期区民会議提案事項について
- 3 その他
 - (1) 第8回区民会議の開催日程について
 - (2) 参与助言
 - (3) 交流会について
- 4 閉 会

【配布資料一覧】

「次第」

資料1 課題解決のための調査・検討シート ～地域交流部会～

資料2 専修大学提案事業「エコバッグを通じた世代間交流」について

資料3 「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う小・中学生による絵画展について

- 資料4 「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う美化清掃活動について
- 資料5 「あいさつが交しあえる地域づくり事業」の事例集の作成について
- 資料6 課題解決のための調査・検討シート ～環境部会～
- 資料7 環境部会の取組経過
- 資料8 「生ごみリサイクルと地産地消フォーラム」の開催について
- 資料9 「麻生区エコカルテ」作成について
- 資料10 「麻生区区民会議フォーラム」について
- 資料11 「生ごみリサイクル相談会」の開催について

第7回麻生区区民会議

日 時 平成21年12月15日(火)

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時開会

1 開 会

西谷委員長 それでは、ただいまより第7回麻生区区民会議を開会させていただきます。

皆様、こんにちは。暮れのお忙しいところ、ありがとうございます。

先月29日に生ごみリサイクルと地産地消フォーラムを開催して、132名の出席がありました。大変盛況に終わることができまして、大変好評でした。その後、「マイタウン21」にも取り上げられていました。当日、お忙しくて展示した写真を委員の皆さんは見られなかったかとも思いますし、都合が悪くてご出席できなかった委員さんもいらっしゃると思いますので、再度その写真を展示してあります。会議が終わった後にご覧いただければと思います。生ごみリサイクルの作品の写真ですが、それぞれ大変いい写真で、これも1つ会場を非常に華やかにしたものになったと思います。

いよいよ、今日と3月のあと2回で今期の区民会議も終わりになります。今日はその締め段階にだんだん入っていますので、また皆様にご審議いただかないといけないと思います。

それでは、よろしく願いいたします。

2 議 事

西谷委員長 それでは、議事に入りたいと思いますが、初めに、配付資料の確認をさせていただきます。事務局、お願いいたします。

(事務局から資料の説明)

(1) 調査審議課題について

ア 地域交流部会の検討経過報告及び意見交換について

西谷委員長 それでは、議事の調査審議課題に入りたいと思います。

まず、議事(1)のアの地域交流部会の検討経過報告につきまして、根占部会長よりご報告をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

根占委員 それでは、地域交流部会の検討経過報告をいたします。

1つ目といたしましては、専修大学から事業提案がありましたエコバッグ作成を通じた世代間交流事業の実施報告をいたします。

2つ目としまして、「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う小・中学生の絵画展と美化清掃活動についての企画案を提案いたします。

最後に、「あいさつが交し合える地域づくり事業」の事例集の作成経過報告をいたします。

それでは、最初のエコバッグ作成を通じた世代間交流事業について、資料1の4の取組の成果をご覧ください。平成20年度にも公立保育園でエコバッグ作成を行いました。今年度は世代間交流を主眼として、老人いこいの家とこども文化センターの合築施設の中から、麻生こども文化センターと岡上老人いこいの家の2ヶ所でエコバッグ作成を通じた世代間交流を実施しました。

取組の内容といたしましては、最初に、専修大学の学生が作成したエコカルタを使って全員でカルタとり競争を実施しました。カルタの一例としましては、例えば「い」の場合、「嫌がらず、みずから進んでエコ活動」、それから、「き」の場合には、「きのうより、きょうよりあすがよい空気」、それから、「り」の場合には、「リサイクル、面倒だけど、ほしのため、地球のため」というようなエコカルタがございました。全てのエコカルタの文句を専修大学からいただいておりますので、ご興味のある方は後でご覧になってください。カルタとり競争の間に、そういった身近なエコの取り組みや、環境に関するお話を織りまぜて、エコ意識の高揚を図りました。

そして、カルタとりの後は、参加された方たちにエコバッグに絵を描いてもらいました。なお、特に強調した点は、作成したエコバッグは持ち帰って、たんすの奥にしまわずに、十分利用してもらうことをお願いいたしました。

両日ともたくさんの方にご参加いただきまして、盛会のうちに終了できました。特に11月18日に、岡上老人いこいの家で実施した際は、高齢者の方の参加も非常に多くて、世代間交流を十分図ることができました。ちなみに、そのとき参加された方の最高齢者は92歳で、カルタとりにも参加されて、楽しんでおられました。また、このときは余興としまして、お手玉やけん玉も行いまして、その遊びでも世代間交流を図ることができました。

資料2をご覧ください。11月8日に、麻生こども文化センターで実施したときに参加された子供の父母で、万福寺子どもの会の方がおられまして、子ども会の新年イベントで、ぜひ同様の取り組みを行いたいとの申し出がございました。来年1月16日に、専修大学の前川ゼミの協力を得て、実施することに決まりまして、こういうチラシができました。当会議が実施したことで、地域での広がりがだんだんできつつあるということは、非常に大きな成果であると思います。

資料2の裏面には、今回の取り組みが、東京新聞、「マイタウン21」に掲載されたので、その記事の写しを添付してございます。

次に、2番目の1として、「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う小・中学生による

絵画展についてでございます。

資料3をご覧ください。アルテリッカしんゆりが、今年に引き続きまして、来年の4月24日から5月9日にかけて開催されることになりました。こちらのチラシが開催内容となっています。それを受けまして、区民会議としても盛り上げるための支援方法の1つとして企画したものであります。これは11月26日に開催されました第9回地域交流部会で案が出されました。

前回の全体会議で、地域の拠点施設であるこども文化センターの調査結果について報告しましたが、課題の1つとして、こども文化センターの認知度が意外に低いことを取り上げました。その課題解決の取り組みとして、こども文化センターを通じて絵画の作成を依頼し、絵画展の際に、こども文化センターの活動などについてもあわせてPRを行ってみてはどうかと考えております。

資料3の裏面をご覧ください。設置場所と展示イメージを図示したものです。設置場所については、今年同様に新百合ヶ丘駅北口の連絡通路です。フェンスいっぱいに表示できるように、絵画枚数を約50枚増やしまして、300枚展示したいと考えています。また、絵画展の趣旨説明文と芸術祭の関連情報を掲示しまして、続けて、こども文化センターごとに施設紹介なども含めて展示ができればと考えております。

今年度の反省として、絵画展の趣旨説明文と芸術祭の関連情報が、小さく、わかりにくかったということもありましたので、展示に当たっては、その点を改善していきたいと考えております。

また、絵画のテーマは、「わがまち●●●」。この●●●には、こども文化センターの名前を入れていき、それぞれの地域を題材に自由に絵をかいてもらえればと思っております。

今後のスケジュールとしましては、年内にこども文化センターの指定管理者に依頼を行い、1月上旬には、各こども文化センターに画材などを渡したいと思っております。2月下旬をめどに絵画を受領し、その後、絵画のパウチコーティングや段ボールシートへの貼付作業などを行う予定にしております。展示期間については、4月28日から5月6日までを考えています。今年は芸術祭開催期間に合わせて長期間掲示を行いましたが、絵画の損傷や展示物のはがれなどもありましたので、5月の連休を中心にした短期間にしたいと考えております。

それから、2番目の2としまして、「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う美化清掃活動についてでございます。

資料4をご覧ください。「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う美化清掃活動に関する企画案になります。こちらの企画も、今年に引き続き提案するものです。

実施日は、川崎美化運動実施麻生支部の月例活動日に合わせて、平成22年4月20日の午前9時半から1時間程度を考えております。雨天の場合に備え、翌日を予備日と

しております。実施場所、実施方法については、今年と同様に新百合ヶ丘駅周辺考えております。なお、今年の参加者は、美化ボランティア以下、計6団体38名の参加がございました。来年も同程度の方にご参加いただければと考えております。

今後のスケジュールは、来年の1月下旬ごろに各団体に協力要請を実施しまして、必要に応じて事前打ち合わせを行っていきたいと思っております。

この2点が、「川崎・しんゆり芸術祭」開催に伴う区民会議としての取り組みに関する企画案の提案でございます。

次に、3番目としまして、「あいさが交し合える地域づくり事業」事例集の作成についてご報告いたします。

資料5をご覧ください。既に前回の区民会議においても説明しておりますが、全体構成案を資料として添付いたしました。作業の進捗状況は、各自治会、町内会の取り組み事例については1回目の校正がほぼ完了し、最終校正の資料を順次各会長様に送付して、確認を依頼しているところでございます。また、市民団体などの記事につきましても、掲載記事案が完成し、近日中に1回目の校正依頼を行う予定です。今後、それ以外の部分の掲載内容も詰めていきまして、2月中には掲載記事内容を確定させて、3月中の完成を予定しております。

以上、地域交流部会での検討経過報告となります。

西谷委員長 ありがとうございます。地域交流部会からのご報告でしたが、順を追ってご意見を伺いたいと思います。

エコバッグ作成を通じた世代間交流について、まず皆様にご意見、ご感想等をいただきたいと思います。特に地域交流部会ではない方からのご質問、ご意見等もぜひお聞かせいただきたいと思います。いかがでしょうか。

先ほど根占委員からご報告がありましたように、今回はこども文化センターの調査をしたということを受けて、こども文化センターと老人いこいの家の合築施設に依頼をして、子供と老人いこいの家を利用している方たちが一緒にエコバッグづくりをするといった世代間交流を試みました。先ほどご紹介がありましたように、学生たちが自ら考えて絵や字を書き、非常にユニークな、ウイットに富んだカルタができました。そのカルタも結構大きくて、お年寄りの方たちもよく見えるようにしてあり、学生たちは非常に考えたのではないかと思います。

それと、ずっと続けたら大変なので、カルタの合間にちょっと休憩を入れるのですが、その時に、「私はマイはしを持っているんですよ、みんなは持っていますか」と言っただけで自分のマイはしをバッグから出して見せたり、「地球環境はこんなになっているんだよ」と地球環境やエコについての話を学生たちが合間に3、4回入れて、それからまたカルタをとる方式で行っていました。高齢者の方々も、夢中になってカルタをとっていました。中には、子供たちと匹敵するぐらいの枚数をとった方もいて、非常に

楽しくできたと思います。お手玉で遊んだりもしたのですが、お年寄りの方たちは子供たちより上手なので、昔を思い出して、一緒に楽しい時間を過ごしたと思います。私も2回とも参加させていただきましたので、私の感想です。ほかの参加された方、または参加されなかった方たちでも、ぜひご意見を伺いたいのですが、いかがでしょうか。

神本副委員長 私は岡上老人いこいの家の世代間交流に参加したのですが、こども文化センターとわくわくプラザの子供たちと老人いこいの家にいらっしゃるお年寄りとが交流する形で行ったようです。高齢者の方もとてもたくさんお見えになっていまして、仲よく楽しく行っておりました。世代間交流としては非常に成功した例じゃないかなと思いました。

守田委員 感想というよりは、補足説明という形で、エコバッグのことについてご報告いたします。私も麻生こども文化センターの世代間交流に参加したのですが、そのときに、万福寺子ども会の方がお子さんと一緒に参加していきまして、その場で専修大学の前川先生にぜひ地元のこども会でもやりたいという申し出がございました。私もそれを伺っておりましたので、いろいろ情報提供などお手伝いいたしまして、資料にある「新年会のお知らせ」のとおり、1月16日に行うことが決定しました。

その後、前川ゼミが資料にあるキャンドルナイトのイベントを開催するにあたり、キャンドルホルダーにペットボトルをかなり使いますので集めないといけないのですが、万福寺の町内会関連が協力し、前川先生と学生とこども会の方が相談しているという協力関係ができつつありました。万福寺は新しい地域なので、地域づくりというものに対して一生懸命やっていく必要があるもので、何とか頑張っていきたいとこども会の方がおっしゃっていましたが、そういう熱心なお気持ちというものが早速そういう形で行動にあらわれて、区民会議と前川ゼミとでまいた種が少しずつ広がっていくのではないかなと思いました。私などは非常にうれしい気持ちでご報告をいただきましたということを皆様にご報告いたします。

西谷委員長 ありがとうございます。守田委員が仲介してくださいまして、万福寺子ども会で新年会にエコバッグをつくることが実現できるようになりました。学生たちもとてもよく協力してくれて、地域の交流がこういうことをきっかけにでき、いろいろなことが広がってきていると思います。やっと少しずつ区民会議も地域に根ざしてきつつあるのかなと実感しました。

企画課長 補足ですが、岡上老人いこいの家の世代間交流は、参加者が29名、その内12名が高齢者の方になります。麻生こども文化センターは、参加者が27名で、その内高齢者が3名と若干少ない人数でした。それについては、こども文化センターのこ文まつりに合わせて日曜日に行ったのですが、老人いこいの家が休みですので、日にちの設定が少し悪かったと思っております。

西谷委員長 今、お話がありましたように、確かに日曜日で老人いこいの家が開いていませんでしたので、高齢者の方たちの参加が望めなかったことがちょっと手違いでしたが、こ文まつりにあわせて行いましたので、そこにいらしている方が参加してくださいました。

それでは、続きまして、「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う絵画展についてです。こども文化センターの調査をしたところ、地域の拠点のひとつがこども文化センターになっているのですが、利用できることを知っている方が少なく、夜の利用が特に少ない状況でした。子供たちが使わない時間帯に、もっとこども文化センターが利用されてもいいのではないかということから、もう少しこども文化センターをPRすることが必要ではないかと考えました。そこで、去年は小学校にお願いしましたが、今回はこども文化センターにお願いして、子供たちに絵をかいていただき、「川崎・しんゆり芸術祭」にあわせて展示しようと考えて企画した案です。これについてご意見等いただきたいのですが、いかがでしょうか。

山崎委員 画用紙のサイズが横380、縦270となっており、段ボールシートの高さが606となっていますが、縦にかくと2枚張れなくなる問題があると思います。

それから、「川崎・しんゆり芸術祭」において、5月1日から5日までの5日間、こどもの広場が区役所前広場にできる予定です。このこどもの広場を使っていろいろ行事があるものですから、この辺との関連性をちょっと考えなければいけないのかなと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。画用紙を縦と横のどちらで使うかということですが、去年も縦が何枚かありました。そうしますと、1つの段ボールシートの中に3枚しか入らないといったこともありました。

企画課長 基本は画用紙を横でかいてもらうようこども文化センターにお願いする予定です。縦でかいてしまった場合は仕方がないので、調整をします。

西谷委員長 前は場所に余裕があったので、少し空きをつくって縦を入れました。

企画課長 前回は小学校には横でかくようお願いしたのですが、中には縦で書いてしまった子供がいました。

西谷委員長 どうしてもそういうことが起こりますので、できるだけ横にかくようお願いして、4枚張れるようにしていきたいと思っています。

山崎委員 静物画になるとどうしても縦が多くなると思います。仮にお花をかくとなると、縦のほうが多くなる。横ですとちょっと入らないのでは。

西谷委員長 わがまちの自慢ということで、例えばわがまち麻生とか、わがまち片平とか、こども文化センター名で展示していきますので、風景が多いと考えております。

山崎委員 それならば、できれば風景画とかうたっておいたほうが、子供もかきやすいと思います。特に小さいお子さんですと、いろいろかいてしまうことがあると思いま

す。年齢が小学生から6年生ぐらい、幼稚園も入るかもしれませんので、その辺のことをうたっておいたほうがいい気がします。

西谷委員長 それでは、こども文化センターの館長さんをご相談したいと思います。

伊藤委員 山崎委員から紹介されたこども広場ですが、5月1日から5日間、「川崎・しんゆり芸術祭」の一環として区役所前の広場で行われるのですか。

山崎委員 そうです。

伊藤委員 子供がいっぱい集まるところに展示されたほうが、より有効ではないかというお考えのもとに発言されたと思いますが、こども広場でどういうことが行われるのかご紹介いただければと思います。こども広場と絵との関連性があればより盛り上がるかもしれませんので、検討は必要かもしれません。

山崎委員 こども広場では汽車ぽっぽを走らせたり、育成連では、ボーイ、ガール、子ども会でゲームや遊びを考えています。それから、ジェイコムさんが出てくれたら工作ができます。それと、フロンターレさんが出てくれればゲームができます。ただ、ジェイコムさんもフロンターレさんもいろいろありますので、1日ぐらいしか出られないと思います。育成連は、子ども会は2日、ボーイは2日、ガールは1日で行いたいと考えています。これから企画を出すのですが、そういう形で進めたいと思っています。去年は雨が多かったものですから、子供を集めるのに大変苦労しました。

それと、今年はドラえもんの展示がないものですから、イベントのあり方が変わってくる。どのように子供を集められるかという問題があり、この期間は早目にPRしないと集まらないと思います。ほとんど無料で行いますし、今年は食べ物を出したらどうかという話もあるのですが、食べ物は業者が出したほうがいいのではと検討しているところです。

西谷委員長 そうしますと、ちょうど通路として子供たちが駅からこども広場に行くときに見るチャンスができて、非常に効果はあると思います。今年は、ドラえもん展に行く人たちが見てくださるだろうと期待しましたが、来年はこども広場に行く人たちが通って見てくれるだろうということに期待にかけたらどうでしょうかと思います。

ほかに絵画展について、何かご意見はございませんでしょうか。

渡邊副委員長 こども文化センターのPRを兼ねたという企画は非常にいいと思います。こども文化センターというのは、知る人ぞ知るでありまして、意外と知られていない面がございます。むしろ老人いこいの家よりこども文化センターのほうがよほど制約がなくて、使いやすい。老人いこいの家は60歳以上となっていますが、こども文化センターは、大人でも空いていれば貸してくれますし、私の自治会では、リソグラフが置いてあるものですから、やまゆりに行かないで近くのこども文化センターで印刷したりします。麻生区にはこども文化センターが10館あって、しかも、夜9時まで管理する方がいますので、近くの町会さんだったら、空いていれば借りて会議を行うこと

もできます。そんな面で、こども文化センターをPRするという点はいいのではないかと感じています。

西谷委員長 ありがとうございます。駅からおられる方たちもご覧になりますし、こども文化センターを知らない方たちにもPRできると思っております。これから詰めていかなければいけません、できるだけいいものにできたらと思っております。またご意見がありましたらお寄せください。

その次は、「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う美化活動についてです。昨年と同様に行いたいと思っておりますが、ご意見ございましたらお願いします。昨年参加した団体はいくつでしたか。

企画課長 6団体で38名です。

西谷委員長 昨年は雨で1日延びて翌日になったのですが、それでも38名の方にいらしていただいて、区役所側から駅のターミナルや反対の水のあるところまでお掃除ができて、大変きれいになったと思います。今年も行いたいと思っておりますが、ご賛同いただけますでしょうか。

それでは、この企画で行いたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

それから、前回の区民会議のときに、毎月の美化活動についての参加をお願いしたのですが、なかなか参加いただけていないようです。毎月の第2木曜日と第4火曜日に実施しておりますので、参加できる方は9時半に区役所にいらしてください。ぜひお願いしたいと思います。

渡邊副委員長 実は今日、清掃がありまして、この中から4人参加しました。

西谷委員長 その前の2回ぐらいは雨で中止になりました。

渡邊副委員長 そうですね。雨だと中止になります。今日は、自分を含めて区民会議委員の中から4人の方が参加しました。

西谷委員長 私は前々回に行こうと思っていたら、雨になってしまっていて行けなかったのですが、私たちが美化活動するときに、ほかの団体の方たちも協力してくださっていますので、ぜひお願いしたいと思います。

それでは、次の「あいさつが交し合える地域づくり」の事例集作成につきまして、ご意見等をお願いいたします。自治会の部分も大分できていまして、資料5の裏側に目次があります。こういった内容について冊子にして、3月中には完成させる予定にしております。非常に活発に取り組んでいる自治会もありますので、いろいろなご紹介ができれば、地域のつながりづくりに貢献できるのではないかと思います。

それでは、これまで全体を通じて何かご意見がございましたらお願いします。地域交流部会についてのご意見がございましたらお願いします。

よろしければ、議事（1）アの地域交流部会の検討経過報告及び提案についてご承認いただけますでしょうか。

[拍手]

西谷委員長 ありがとうございます。

イ 環境部会の検討経過報告及び意見交換について

西谷委員長 それでは、続きまして、議事（１）イの環境部会の検討経過報告について伊藤部会長からご報告をお願いします。

伊藤委員 それでは、報告させていただきます。資料6をご覧ください。エコのまちあさおの推進、持続可能な地域社会の創造を目指してというテーマで取り組んでまいりました。資料6の④取組の成果に今まで取り組んだことが書いてあります。これは後で見たいと思います。

次に、資料7にある区民会議としてのモデル事業としまして、今回、生ごみリサイクルと地産地消の取り組みと麻生区エコカルテの作成という、主にこの2つの取り組みを進めてまいりました。これにつきまして、ご報告させていただきたいと思えます。

まず、生ごみリサイクルと地産地消の取り組みとしまして、今年の3月からレストランあさおで出た生ごみをリサイクルして、その肥料を使って農家で野菜を生産し、その野菜を使ってレストランあさおでランチに提供するという、1つのサイクルが発しました。これは、資料にある地産地消の取り組みということで、6月からスタートしました。ここにメニューが出ておりますが、6月、7月、8月、9月、10月、11月にキャベツやナス、ゴーヤー、ロールキャベツ、ポテトといった、地元産の野菜を使って、レストランあさおで食育の日に提供しております。ほぼ毎回完売で足りないぐらいです。皆さん方も1度か2度はお食べいただいたかと思うのですが、好評であります。こういった地産地消も含めたモデル事業、小さなモデルですけれども、出発しています。

今回、これをモデルで終わらせるだけではなくて、大きく麻生区の中で、循環型社会、エコのまちを目指そうということで、フォーラムを開催させていただきました。

資料8をご覧ください。今回のフォーラムにつきましては、今日の会議の冒頭に委員長からも紹介がありましたが、会場風景の写真を見ていただきますとわかりますとおり、後ろのついたてまで人が満杯でした。それから写真展と展示ブースを設置して来場者に見ていただきました。

なお、野菜直売所の写真がありますが、柿生生産者の直売会が区役所の前にテントを張って、地元産の新鮮な野菜を販売しました。この生ごみリサイクルと地産地消フォーラムの1つとして、大きな役割を果たしたのではないかと思います。この直売所も、芋以外は完売しました。参加者も132名と多く、熱気にあふれるフォーラムだったと思います。

資料の裏面を見ていただきますと、「マイタウン21」も2面のトップ記事として、当時の開催の様子を伝えております。

私どもは150名以上は参加してもらおうと思っていました。それが麻生区の中の1つの世論にもなっていくだろうし、そこで皆さんに学んでいただいて、それぞれ家庭に持ち帰り、あるいは農業の振興のために役に立っていただくという考えでありました。実施内容として、基調講演は東京農大の後藤先生に約30分間お話しいただきました。それから、事例発表として、じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会は、東京農大のある町でして、町会など地域の皆さんが循環社会に取り組んでいる例を報告されました。2番目のあさお生きごみ隊は、古沢に生ごみを堆肥にする醸成場がありますが、これを地域の皆さんがボランティアで行っており、約26から28軒の方々から生ごみを集めて、これを堆肥にして、野菜をつくっています。3番目は環境を考え行動する会で、ダンボールコンポストでリサイクルを行っています。これが約500軒にも増えたということで、急速に麻生区やその他の地域にも広がっています。4番目に、区民会議の環境部会の報告として、レストランあさおを中心とした循環について報告をいたしました。

その後、事例発表の時間が延びたため時間は少なかったのですが、パネルディスカッションを行いました。東京農大の後藤先生、明治大学の玉置先生のほかに、JAセレサ川崎の梶委員からは、麻生区のファーマーズマーケットセレサモスでの顔の見える農産物の販売や地域でいかに農家や緑地が減ってきているかという報告、環境局廃棄物政策担当の佐藤主幹からは、黒川に明治大学の農場の試験場ができることなどの発言をいただき、非常に問題も深まったと思っております。

次のページをご覧ください。「生ごみリサイクルと地産地消」の取り組みとしまして、私が環境部会として報告しました。この内容につきましては、今までも環境部会で報告させていただいたものです。

裏面にも、麻生区の地域特性とごみの現状のデータというのを掲げまして、主にこういった内容のことを区民の皆さんに報告させていただきました。

地元で生ごみリサイクルに取り組んでいるグループや大学で研究している方々、農協さん、農産物を生産している農家の皆さん、環境行政に携わっている行政の方など、さまざまな視点から報告や問題提起があったわけです。

私も驚いたのですが、この報告の中の裏のグラフを見てみますと、麻生区では農地の分布というのがあるのですが、市街化調整区域が麻生区には5つあります。これは農地や緑を中心とした、市街化にしないという区域なのですが、それが端のほうに5つあります。川崎市全体でどのぐらい市街化調整区域があるのかと思いましたが、7カ所しかありません。あと2つは高津区にあります。ほとんど市街化調整区域はなくなって、市街化区域になっている。麻生区は特に5つあるわけですがけれども、麻生区

の市街化区域の中にも、いわゆる生産緑地として生産をしている農家さんがかなりいます。次に、耕地面積と農家数をご覧くださいますと、宮前区、多摩区、麻生区と高津区でほとんど川崎市の農地面積は9割近いという状況です。農家は少なくなってきています。毎年毎年、農地も耕地も下がっています。その中で農業を振興していくことが緑を守るという意味でも必要な状況になっています。

一方、ごみの状況ですけれども、近隣の都市に比べて川崎市の人口が急増している中で、皆さんの努力によって、年々一般の家庭ごみが減ってきている状況です。家庭ごみの中では生ごみが3割を占めていますが、これを減らすならば大きくごみ処理が減ると思います。ごみ処理費用の推移を見ていただきましても、今、170億ぐらいごみ処理に費用がかかっているのですが、これも下がっていくだろうし、燃やした後のごみを埋め立てているわけですけれども、あと40年しかもたないと言われております。こういう状況の中で、生ごみリサイクルと地産地消の取り組みというのは今後の大きな課題ではないかと感じております。

次に参加者のアンケートをご覧ください。アンケートの回答は、参加者132名のうち65名からありました。1番目は、フォーラムを何で知りましたかです。2番目は、基調講演の感想について、「大変参考になった」、「参考になった」という方が9割以上でした。そして、特に意見としては、「ダンボールコンポストについて、新しい知識を得てよかった」とか、「今後に生かしたい」などの感想が寄せられていますし、3番目の事例発表の感想につきましても、「参考になった」から「少し参考になった」までで9割以上になります。それから、パネルディスカッションにつきましても、意見として、「JAさんにも積極的に生ごみ堆肥とか肥料を農産物に使ってほしい、積極的に取り組んでほしい」とありました。5番目は、展示コーナーの感想です。6番目は、農産物直売コーナーの感想で、「生産者の顔が見えるのでよかった」とか、「地域の野菜がすぐ近くで手に入るのでよかった」とありました。それから、「区役所に来る機会が多いので、直売コーナーをもっと多くやってほしい」というようなご意見も出ておりました。

7番目のどんな取り組みに関心がありますかという質問には、9割近くが環境となっています。

8番目の区民会議へのご意見ということにつきましては、後でお読みいただきたいと思っております。

麻生区では、このような内容のフォーラムを初めて開催したわけですけれども、出席された後藤先生などは、こんなに大勢の人が来たことに驚いておりましたし、区民の意識の高さに大きな感動を受けて、今後も一緒にやっていきたいと思いますというメッセージも出されておりました。磯野区長さんからも冒頭にごあいさつをいただきました。また、元高津区の区長さんや経済労働局の農業振興課長さんなどいろいろな方々

が見えられて、今後への期待を述べておりました。

それでは、続いてエコカルテについてご報告をさせていただきます。

資料9をご覧ください。麻生区エコカルテは、現在、最終版近くになっております。取材した原案を委員長を含めて環境部会で詰めていき、修正をしたり、意見を述べているという段階に来ておまして、来年の3月の完成に向けて進めております。目次を見ていただければと思います。まず、麻生区での温暖化がどうなっているか、2番目に、麻生区の自然環境支援がどういうふうになってきているのか、3番目に、麻生区内のエコの取り組み、特に自然エネルギーである太陽光やごみの減量の問題に企業や行政がどう取り組んでいるか、4番目に、自然保護、自然との共生の取り組み、食と農業、市民と農業、こういったテーマで書かれています。大きな4番目として、地域別に見たエコの取組ということで、その取り組みが中学校区別に書かれています。5番目に、主に麻生区ですけれども、いろいろなエコの取組紹介とありますが、その取組を取材して、約24部門紹介する予定です。小学生向けですので、6番目に、エコカルテを使ってエコについて学ぼうとか、7番目に、エコにチャレンジしようというクイズとかを重ねて、DVDにまとめて、各小学校に配付します。このエコカルテを先生方に活用していただいて、スクリーンに映しながら、教育に使っていただきたいと思っています。

例えば1つ例を挙げますと、麻生区には水力発電所があります。川崎に水力発電所があるというのは余り知られていないと思うのですが、麻生区には、水道になる前の原水ですが、相模湖から来る水の落差を利用した発電所を柿生につくっています。そこから生田浄水場などで浄水をつくって、川崎市全域に水道を供給しています。その水道管を通して流れる水を利用した、マイクロ水車を使った発電も行っています。これから建設する下水の水を利用した発電とか、別の都市ですが、農業用水を流している水車の水を利用して発電をしています。いろいろな観点から、子供たちの発想を豊かにし、気がついてもらおうということで、そういった事例も掲載しております。今、完成に向けて努力中であります。

それから、前回の区民会議で小学校での取り組みを載せたほうがいいのではないかという提案がありました。それにつきまして報告しておきます。麻生区の小学校16校にエコに関してどういう取り組みをしていますかといったアンケートを配り、全校からそれぞれの取り組んできた学校のエコ活動について回答がありましたので、それをエコカルテの中に落とし込んでいます。小学校で自分たちがやったことが紹介されるというのは、子供にも、あるいはほかの小学校でもどういう取り組みをやっているかという参考になるだろうし、勇気づけられるのではないかと思います。

以上、報告を終わらせていただきます。ご意見、いろいろお願いします。

西谷委員長 ありがとうございます。ただいま環境部会の伊藤部会長から、環境部会の

検討経過についてご報告及び提案をしていただきました。

まずは、生ごみリサイクルと地産地消フォーラムと写真展の開催について、参加された委員の方からご意見をいただきたいのですが。または、参加できなかった委員の方からのご質問でも結構です。大勢の委員の方にご参加いただいたと思いますが、感想等でも結構です。

渡邊副委員長 先ほど話が出ましたように、132名の方に来ていただき、この会議室がいっぱいになりました。これには、伊藤部会長みずから、トランジスタメガホンを持って、区役所の前で盛んに呼び込みをやったのが功を奏したのではないかと思います。また、後藤先生もおっしゃっておられたように、麻生区には生ごみリサイクルなどに関心のある方が大勢いるんだということではないかと思います。本当に130名以上来るとは思いませんでした。さっきのアンケートにありましたが、フォーラムを知ったのは、チラシが1番で、その次が市政だよりで、3番目が知人からというのは、やはり委員の皆さんがいろいろクチコミで伝えていただいた結果、132名の来場者になったのだらうと思います。いろいろ皆さんのご協力があったことだと思います。

伊藤委員 環境部会でこういう取り組みができたのも、区民会議ならではと思います。いろいろな部署の方、農協の方や農家の方、町会の方がつながり、こういう輪が大きな力になったという点で、区民会議の皆様は改めて御礼を申し上げたいと思います。

私は、今回のフォーラムを、区民会議は2年の任期で終わるわけですが、1つのモデル事業として、小さなモデル事業ですが、区民会議で1つ発信させていただきました。これを打ち上げ花火のように1回で終わらせるのではなくて、今後どうしたらいいのかと考え、あるいは研究するという何かそういった組織が必要ではないだろうかと思えます。せっかくここまで来ましたが、まだ点でしかありません。これをどのように面に広げるのか。農協さんなどとどういうふうにしたらもっと広がるかを考え、区民の皆さんに顔の見える農産物をつくっていただいたりすることで、それが農業振興にもつながり、農地の確保にも、緑の確保にもつながっていくと思えます。やはり1回で終わらせるのではなくて、そういったものを恒常的に研究し、提言できて、実践できるような、そういうものが求められているのではないのかなと感じております。それが何よりも大きな力になるのではないだろうかと思えます。区民会議のあり方も含めたそういうことをぜひご検討、あるいは研究していただければと思っております。

天野委員 写真展に参加された方には、後藤先生からいただきました「みどりくん」とコマツナの種をお渡ししました。参加者にも、先着100名で、「みどりくん」とコマツナの種をお分けできました。写真展は19作品ありましたが、「みどりくん」とコマツナの種をお渡ししたら、皆さん、いろいろな感想を聞かせてくださいました。「区民会議なんてとても遠い存在だったんだけど、ちょっと行ってみたら結構いいことやって

いるんですね」とか、「これからいろいろ広報も見るようにします」とおっしゃった方とか、辛口コメントでは、「パネルディスカッションが時間切れで、ディスカッションにはならなかったですね」とか、「地産地消の部分を楽しみに行ったのですが、生ごみリサイクルの色合いのほうがちよっと濃かったですね」とか、「「みどりくん」の色合いが結構濃かったですね」といった辛口コメントがありましたが、ほかは、「とてもよかった」、「こんな充実した会を予想していなかったので、参考になりました」という方が何人もいらして、中には、こんな冊子をつくったのであげますなんていう方もいらっしゃいました。

西谷委員長 ありがとうございます。非常に欲張った内容にしたものですから、最後のほうのパネルディスカッションは、しり切れトンボになってしまって、いらしてくださった方に大変申しわけなかったなと思いますが、時間も時間でしたので、またの機会にとさせていただきます。ですから、先ほど伊藤委員がおっしゃったように、これが終わりではなくて、これが出発ということで考えてみれば、区民会議が1つ火つけをしたということで、これからは区民の皆さんに活動を起こしていただければと思っています。後藤先生は、生ごみリサイクルのフォーラムをいっぱいやっているけど、こんなに熱心で、こんなに充実したフォーラムは初めてでしたとお褒めをいただきました。そういう点ではよかったかなと思いますが、今後、これをどういう形にしていくかということは、私たちの課題、区民としての課題になってくるかと思っています。

山崎委員 先ほど伊藤部会長からお話があったように、約30%という大きな生ごみが家庭から出てくるわけで、この間も東京農大の後藤先生のところに行っているいろいろ聞いたのですが、川崎市でも考えてほしいとのことでした。川崎市が考えることによって、3つぐらい大きな焼却炉があるのですが、そういうところにプラントをつくって、堆肥などを販売すればいい。やはりもったいないと思います。無料ではなくて、安くして販売すればいい。それと、焼却炉で出る油があります。この油をどう使えるかを研究して、自動車の油になるのか、それともろろそくになるのか、いろいろなことで使えるのではないかと思います。王禅寺の焼却炉は、燃やすだけではなくて、そういうものに逆に使えないかとかをこれから区民会議の中で提案していただいて、きちっと今後取り組んでもらいたい。環境に優しい麻生区になるとと思いますので、この辺を委員長にお願いしておきたいと思います。よろしくお願いします。

西谷委員長 環境部会の中でも、生ごみは廃棄物ではなくて、資源だという観点がでてきていたと思います。ですから、資源をどう使っていくか、地球の乏しい資源の中に1つの資源を組み込ませていくということで、またこれからも考えていきたいと思っています。最後まで間で環境部会ともご相談しながらまとめていく方向にしたいと思っています。

J Aの方たちも、あの日は非常に寒かったのですが、テントを朝早くから立てて野菜の販売をしていただくなど、非常に協力をしてくださり、私たちとJ Aとも少し近くなったということではよかったと思っております。

それでは、次のエコカルテについてのご意見を伺いたいと思います。環境部会で、小学校高学年向けにエコカルテを作成しております。仕上げの段階になっておりまして、伊藤部会長からもお話があったのですが、前回の区民会議のときに小学校の取り組みを載せてはどうかということで、小学校の取り組みも入れさせていただいて、今、仕上げをしております。目次をご覧になって、何かまたご意見がありましたらいただきたいのですが、いかがでしょうか。非常にいい資料ができつつあると思っています。麻生区版ということで作成しておりますので、今まで世界だとか、日本とか、川崎市という資料はあるのですが、麻生区の資料というのはないので、子供たちが、自分たちの身近なところで環境について考えることができる資料になればと思っております。目次だけですので、これだけではわからないかなとは思いますが、こういう点をぜひ組み込んでほしいということがありましたら、前回のようにご意見を言っていただけたら、即検討材料にさせていただきます。よろしいですか。

それでは、エコカルテは来週の月曜日で最終近くになります。仕上げの会議を行いますので、今週中に事務局にご意見があったらお寄せいただければと思います。

それでは、ご意見、いろいろありがとうございました。

議事（1）のイ、環境部会の検討経過報告及び提案についてご承認いただけますでしょうか。

〔 拍手 〕

西谷委員長 ありがとうございます。

ウ 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

西谷委員長 それでは、議事（1）ウの企画部会の検討経過報告について神本部会長よりご報告をお願いします。

神本副委員長 それでは、企画部会の検討経過報告をいたします。

1つ目として、区民会議フォーラムについて、2つ目として、「生ごみリサイクル相談会」の開催について提案いたします。

資料10をご覧ください。区民会議フォーラムの資料になります。前回の区民会議において、区民会議フォーラムの開催並びに実施日、実施内容について提案し、ご承認をいただいております。今回は、開催に当たり、検討すべき課題と、今後のスケジュールなどについて提案をさせていただきたいと思っております。

資料10の裏面の6をご覧ください。これからフォーラムの詳細を検討するに当たり、企画部会を中心にした実行委員会形式で行いたいと思っております。できれば、企画部

会委員以外の方からもぜひ何名かご参加いただき、検討できればと考えております。実行委員会では、企画内容の詳細と当日の役割分担などについても協議し、決定していく予定です。企画内容としては、基調講演と区民会議活動報告の実施について決定しておりますが、そのほか、各団体の展示ブースやパネルの出展などができないか検討する予定にしております。

今後のスケジュールとして、12月21日に第1回実行委員会を開催して大枠を決定し、関係機関と調整し、来年1月14日に第2回実行委員会で当日の役割分担や活動報告内容を決定したいと考えております。その間に区民会議ニュースや市政だより麻生区版、チラシなどを通じて広報していこうと思っております。できるだけ多くの方に参加してもらえようと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

また、チラシ案も添付しておりますので、ご意見などがございましたら、よろしくお願ひいたします。

次に、資料11をご覧ください。「生ごみリサイクル相談会」の開催に関する提案になります。

開催目的は、先日開催した生ごみリサイクルと地産地消フォーラムに多数の方の参加をいただき、その関心の高さがわかりました。生ごみリサイクルと地産地消フォーラムを発展した事業として、「生ごみリサイクルリーダー」などが区民の方のさらなるエコ意識の高揚のために、環境局廃棄物担当と連携し、区役所ロビーを使って開催するものです。開催日時は平成22年3月9日午前10時から午後4時までの予定です。内容は、パネル展示や生ごみリサイクルの手法紹介、関係資料、パンフレットの配布などを予定しております。

以上が企画部会の検討経過報告になります。どうぞ検討していただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

西谷委員長 ありがとうございます。ただいま企画部会の神本部長から、企画部会の検討経過について報告及び提案をいただきました。

まず最初に、区民会議フォーラムについてですが、これについて実行委員会形式として企画、運営をしていきたいと思ひています。企画部会が主体とはなりますが、企画部会だけではなく、そのほかの委員の参加もお願ひしたいのですが、いかがでしょうか。参加していただける方がありましたら、お願ひしたいのですが。

それでは、今急に言われてもということで、もし委員として立候補してもいいという方は、12月21日に第1回の実行委員会がございますので、このときまでにお申し出いただくか、またはいらしていただければと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

これが最後のフォーラムになります。前回は環境部会に限定されたフォーラムでし

たが、今回はこの2年間の活動全部を区民の方たちと一緒に考えたり、意見交換をしたりということで開催しますので、区民会議委員全員で考えていきたいのですが、実行委員会として具体的に企画、立案、または運営の企画をするということは、全員で行うと大変なので、企画部会を中心にした何名かの委員の方に参加していただいきたいと思っております。ですから、当日は皆さんにいろいろ役割をお願いすることになると思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

ここに企画案を出してあります。今回は、「ご近所の底力」という、「地域の課題を地域で解決」という番組の仕掛け人をしていらっしゃるNHKのチーフプロデューサーの堂垣さんにいらしていただいて、いろいろ打ち明け話を伺ったり、それから、どういうことを中心にして伺いたいかということも、また少し詰めていければと思ひていますが、基本的には堂垣さんに、この番組をつくるに当たってやられているいろいろなことを伺っていきたいと思ひています。

この区民会議は、心がひびき合う地域づくりというのがメインテーマですから、地域づくりをいかにしてやることができるか、何をやるにしても、生ごみリサイクルをするにしても、何にしても全部の地域がかかわってきて、いかに地域をつくっていくことでそういうものを広めていくことができるかということになってきます。ですから、今回のフォーラムとしては、基調講演として、「ご近所の底力」を中心にした話題でお話ししていただいて、併せて、各部会の報告と区民の皆さんからのご意見を伺うといった形にする予定でおります。

それから、もう1つ考えていますのは、この間の環境フォーラムのときにいろいろなブースをつくりまして、生ごみリサイクルの事例を発表しました。ダンボールコンポストや生ごみリサイクル、じゅんかんチャレンジといったブースをつくりまして、そこで展示したり、その活動内容をお披露目するといったことが非常に盛り上がったと思ひます。飯塚会長にご意見を伺いたいのですが、「あいさつが交し合える地域づくり」の事例集をつくっていると、いろいろな町会で非常に良い活動をたくさんされていると思ひましたので、その中で代表的な活動をされている町会にブースを出していただいて、町会の紹介をすることで、地域づくりとの関連としていいのではないかとと思ひております。そのような企画をちょっと考えておりますが、いかがなものでしょうか。ご意見を伺わさせていただきたいのですが。

飯塚委員 まず町会の現状ですが、町会といっても、それぞれが経営の仕方も何も違うのですね。新百合ヶ丘周辺の町会さんと、私どものほうの農地がかなりある町会でも違ってきます。先ほどの市街化調整区域でも、道路1本向こうは住宅地とかで違ってきます。今、麻生区町会連合会で、地域をよく知ろうと各町会の会長さんとお話し合いをするのですけれども、そんなことは無理ですよなど、町会によって温度差があります。ですから、今年で3回目ですが、皆さんの町会へ出かけましょうということを行

っています。これは渡邊会長さんもいらっしゃいますけれども、すごく好評ですね。今年は岡上地区へ行きました。岡上は農地もいっぱいあるし、住宅地もあるという中で、町会長さんは結構苦勞しています。

今まで皆さんからいろいろなご意見が出ていましたけれども、確かに老人いこいの家などに訪問して話を聞いたりということは、我々町会としても敬意を表します。しかし、なかなか難しいところがあるでしょう。老人いこいの家に来ている人とお話すると、麻生区は駅から遠い場所が多いのですね。だから、お年寄りが電車に乗って行くのは、ちょっと無理だと思います。各町会は会館を持っていますから、ふだんの行動は会館を使ってやられたほうがいいのかと思います。

西谷委員長 飯塚会長から町会によって温度差が非常にあると、それから、いろいろな違った活動があるとのお話でしたが、私たちはそれがいいのではないかと考えています。町会によって全然違う活動、例えば飯塚会長と渡邊会長の町会は地域が違うのでやっていることも違うと思いますが、いろいろな活動事例を出していただくことで、ほかの町会の方が、こんなことをやったら地域がまとまっていくのではないか、町会に興味を持ってくれるのではないだろうかと思うような、そんな参考になる紹介を5町会ぐらいブースをつくって展示できないだろうかと考えております。町会によって、いろいろな特色や温度差があって当然だと思いますし、麻生区は地域差がすごくあると思いますので、町会をピックアップさせていただいて、「あいさつが交し合える事業」の事例の中から幾つか紹介させていただくということでやってはどうかと思っています。いかがでしょうか。

飯塚委員 あいさつを交し合えるというのは、私どもの町会も力を入れています。知っている人だけでなく、知らない人に対しても、「こんばんは」とか、「こんにちは」とか、どんどん話しかけてやってくださいと、役員さんにもお話ししてやっているのですけれども、夜に若い子やお嬢さんにそんな声をかけると怪しまれます。今、3人ぐらいで、帽子をかぶって、ジャケットを着て、防犯パトロールをやっていますので、そのときには相手も安心なので、どんどん声をかけてやったほうがいいですよと言っています。それと、全部に知らしめるには、掲示板や各戸に配布ということも考えています。あまり仕事をつくと役員のやり手がいなくなるので、ちょっと心配になっています。

この間、町会で青い防犯灯がついたパトロール車に運転手と私とPTAのお母さん2人が乗って栗木台小学校を中心に地域をまわったときに、通学路などを案内して危険な箇所はここですよとか教えたり、逆にお母さんたちからも、我々が知らないようなことを教えていただいたりしました。

西谷委員長 飯塚会長の町会はとても活発に活動をされていると伺っていますが、そういう事例をほかの町会の方たちは多分知らないでしょうね。

地域振興課長 私は今年の4月から町連の事務局の仕事をしておりますが、多分ほかの区とは違う状況だと思っています。先ほども紹介がありましたけれども、地域を知ろうと岡上の地域を回ったりと、先進的な町会や町連としての活動が、非常に好評です。近くにあって知ってはいるけれども、やっぱり現場に行ってみて初めて魅力がわかりました。この企画を考えたのは飯塚会長自身だそうです。

それから、町連の中で結構勉強会や研修会をやっています。町会は大小さまざまですし、集合住宅という中での悩みもあつたりします。特に麻生区には小さな町会が多いです。町会も長期間になってきますと、役員さんが高齢になって、1つの町会だけではなかなか活動がままならないということで、細山地区のほうでは8町会という大小の町会が集まった連合体で、盆踊りを中心にいろいろな活動を行っています。そういうことも勉強会の中で初めてわかってきました。それから、町連だよりも報告の内容を載せておりますが、麻生区は町会自身が地域の中心だということを自覚しながら、いろいろな方を取り込んでいます。福祉的な話をしますと、町会が地域の委員さんの選出母体になっているのが現実でして、民生委員さんを初め、青少年指導員、体育指導員、子ども会などがあります。町会が中心になって、小さな地域で、これらの活動の連携や協力関係ができると、さまざまな面で青少年の健全育成も含めた、福祉を含めた活動ができるのではないかという期待を私は事務局として持っています。フォーラムのような事例発表の場で、町連をアピールしていただくことは、私は事務局としては光栄だと思いますし、ありがたいと思います。

区長 2月7日の区民会議フォーラムで、地域づくりの成功事例をいただいている町会を5ブースぐらい紹介していく企画ですので、事務局としても、委員の皆さんと一緒に町会に当たらせていただければと思います。

渡邊副委員長 現在、地域交流部会の「あいさつが交し合える地域づくり」事例集で、23町会自治会が事例を出しています。そこから幾つか展示しようかということなので、新たにこれから何かをいろいろ出してくださいというのではなくて、既に出している事例を展示しようと考えています。というのは、町会自治会の役員さんは、ある程度ほかのところで大体こんなことをやっているか知っているかもしれませんが、町会自治会に何にも携わっていない方や町会自治会に入っているけど、役員をやっていないのでわからない方とかに見ていただくと、いろいろなことがわかってくるので、町連としてもいいかなと思います。それから、地域振興課長も事務局として言っておられましたけれども、ほかの町会にも参考になるだろうと考えております。だから、新たにこれからいろいろなものを出してくださいではなくて、既に出していた中からやろうとしているので、そんなに各町会自治会には負担にならないだろうと私は思っています。

矢野委員 少し話は変わりますが、あいさつが交し合える地域づくりということで、今、

事例集を作成しておりますけれども、この区民会議フォーラムに当たりまして、私たち自身もあいさつをできるかどうかということがあると思います。例えば民生委員が集まって、研修会などを開くときには、始まる前に、前後左右の方々と必ず握手してあいさつをする機会を設けていただいております。余り無理には言えないかと思っておりますけれども、この区民会議フォーラムが始まる前に、前後左右の方々とあいさつができるようなことを考えていただいたら、フォーラムも和やかに進んでいくのではないかなと思いますので、1つ提案させていただきます。

西谷委員長 ありがとうございます。実行委員会で検討させていただきたいと思っております。

私たちの地域づくりの基本はやはり町会だと思っておりますので、知らない方、町会が何をやっているかわからない方たちにもぜひPRしたいと思っております。これは区民会議としても基本的なところだと考えていますので、この事例集をもとに選出させていただいて、ブースを設けて展示するというのを提案させていただきたいと思っております。そうしましたら、地域振興課長さんからも少しご意見をいただいたり、飯塚会長ともご相談させていただいて、この件については進めさせていただくということでよろしいでしょうか。

[拍手]

西谷委員長 ありがとうございます。それでは、区民会議フォーラムについては、まだ煮詰まってはいませんが、このチラシ等を書いてあることを中心に行う予定にしております。

次の生ごみリサイクルの相談会ですが、このチラシにあるとおり、先日の生ごみリサイクルと地産地消フォーラムがきっかけになったと聞いています。それで、日にち、時間、場所等が確定しまして、環境局廃棄物政策担当の佐藤主幹とも相談し、区民会議も共催するということですが、その点についていかがでしょうか。

天野委員 皆さん、川崎に生ごみリサイクルリーダーという存在があるのをご存じでしょうか。長年ずっとごみにかかわっていらした、生きごみ隊とか、ごみ連絡協議会のメンバーの方が、やっにごみが脚光を浴びられた、区民会議が取り上げてくださって本当にうれしい、区民会議のおかげでやっにごみに光が当たったと言ってくださいました。そんな中で、2年前に生ごみリサイクルリーダーという組織ができたのですが、市民の方から、生ごみを庭で堆肥にしているのだけれども、虫がわいちゃってどうしましょうとか、新しく電動処理機を買おうと思うんですけど、本当に良いものなんですかとか、そんな悩みのある方が、環境局の廃棄物政策担当に電話をすると、生ごみリサイクルリーダーとして登録されている、生ごみに詳しい方を派遣するという制度なのです。その制度が余り知られていないくて、利用率が低いので、今後は多く広報していくという廃棄物政策担当のお話があったのですが、訪問して、1人の相談

を受けるよりは、住民票を取りにきたついでとかに、区役所のロビーを使ってどんな方法で生ごみを堆肥にできるだろうか、どうやったら処理できるだろうかという相談を受けてはどうかという話があり、リサイクルリーダーの方々も、実現したらうれしいと言っていました。区民会議が共催だったら、私としてはとてもうれしいです。

西谷委員長 ありがとうございます。それでは、生ごみリサイクル相談会の開催について、共催が区民会議ということをご承認いただけますでしょうか。

〔拍手〕

西谷委員長 ありがとうございます。それでは、このようにして決定させていただきます。

エ 第1期区民会議提案事項について

西谷委員長 それでは、議事（1）エの第1期区民会議提案事項について、事務局からご説明いただきたいと思えます。

企画課長 資料11の次のページをご覧ください。老人いこいの家の資料がございます。第1期の区民会議で高齢者の部会を設けて、老人いこいの家の調査を行いました。その結果を担当の健康福祉局に提言しております。その結果に基づいて、今回、老人いこいの家の愛称の募集と、利用者のアンケートを実施するという通知がまいりました。募集期間は、12月11日から来年の2月12日までで、老人いこいの家と老人福祉センターの愛称と理由を書いて応募するそうです。今回、区民会議が提言して実現しましたので、ぜひ皆さん、応募していただきたいと思っております。

また、利用者のアンケートについても、同じように提言して実現しました。本日の資料にアンケート用紙が入っております。問5に施設のよいところと改善してほしいところという項目がありますので、もし改善してほしいところがありましたら、それに書いていただければと思っております。

以上で報告を終わらせていただきます。

西谷委員長 ありがとうございます。第1期のときに、老人いこいの家の調査をしたところ、老人いこいの家というネーミングがよくないと、だれもがもう少し使えるようにするために、老人というのはとったほうがいいのではないかという意見が随分出ました。この件につきまして、名称変更を提言しましたところ、名称変更は難しいが、そのかわり愛称なら募集しようということになりまして、今回、実現できました。それから、利用者の調査についても要望してありますので、この2つにつきまして、私たちも責任がありますので、ぜひ応募していただきたいと思えます。愛称はもちろんなのですが、改善してほしいところ等の要望も、ぜひお願いしたいと思えます。

3 その他

(1) 第8回区民会議の開催日程について

西谷委員長 それでは、第8回区民会議の開催日程について、企画部会の神本部長からお願いします。

神本副委員長 第8回区民会議は、最後の区民会議になります。締めくくりの会議ということになります。開催日なのですけれども、3月15日月曜日の午後3時、区役所4階の第1会議室を予定しております。皆さんよろしくお願ひいたします。

最後ですので、ぜひ全員参加していただければと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。3月15日月曜日です。もしかしたら、報告書ができた後に、もう1回全体で集まっていたことがあるかもしれませんが、審議、検討するのはこれで終わりになりますので、ぜひ全員のご出席をお願いしたいと思います。

あと、キャンドルナイトのことについて、守田委員からお願いします。

守田委員 12月19日に、新百合ヶ丘駅のペデストリアンデッキの水景施設近辺を中心として、キャンドルナイトイベントが行われます。これは、専修大学の前川ゼミナールの学生たちの提案によって実現したイベントでございます。主催が専修大学商学部前川ゼミナール、企画・制作・協力がkirara@アートしんゆり実行委員会、「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム、専修大学と、かなりの組織体が協力をされています。実は11月に予行練習を軽くいたしまして、そのときは、200から300程度のキャンドルホルダーにキャンドルを浮かべていたしましたのですけれども、それでも随分きれいでした。今回はイルミネーションをどのように配置するのかわかりませんが、もっと多くのキャンドルを飾って、それから、昭和音大の学生さんたちの合唱や地域の団体の合唱グループも参加するとのこと。楽しいし、美しいイベントになると思います。区民会議としては、これまでの前川ゼミとのさまざまなかかわりもございまして、ぜひ積極的に協力していきたいなと思っております。特に学生さんたちは、今年は就職活動の時期がかなり早まって、3年生は特に大変つらい時期に、エコバッグの活動と、こちらのキャンドルイベントと、本当によく頑張っている学生さんたちを支援していきたいなと思っておりますので、区民会議の皆様もぜひご協力いただきたいと思っております。

西谷委員長 キャンドルナイトについて守田委員からご説明をいただきました。今週の土曜日ですので、ぜひご協力をお願いします。

私も試験的に開催したときにちょっと参加させていただいたのですが、大変きれいで、個数が多くなりましたら見ごたえがあるのではないかと思います。学生たちは一生懸命やっていますので、その熱意も酌んでいただけたら、ちょっと支援してあげた

らと思います。言葉で支援するだけでも学生たちはとても喜ぶと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、その他、審議検討を要する提案がありましたらお願ひします。

伊藤委員 提案ではないのですが、先ほど老人福祉センター、老人いこいの家の愛称を募集するというので、チラシやホームページで広報されると思うのですが、私はさらに、老人会とか町会の役員さんのところへ、ただ渡すのではなくて、こういうことに取り組みますので、ぜひ案を出してくださいという働きかけをやったほうが、そこで議論になり、さらに関心が深まっていいのではないかなと思います。チラシとかだと、なかなか持って帰って見るというのが少ないのではないかと心配したものですから、そういうところへ問題提起をされたほうが、さらに議論になっていいのではないかなと思います。

西谷委員長 このチラシはどこに置いてあるのでしょうか。

企画課長 川崎市内の老人福祉センター、川崎市内の老人いこいの家、区役所や社協などに置くそうです。それ以外でもPRはしていくと思いますので、ご意見があった旨は健康福祉局の担当に話しておきます。

西谷委員長 ぜひ皆さんからもPRをお願ひしたいと思います。たくさんの意見が出てくるほうがいいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

そのほかにございませんでしょうか。

(2) 参与助言

西谷委員長 それでは、本日の議事はこれですべて終了になりますので、参与の皆様から本日の会議についてご助言をお願ひしたいと思います。花輪参与、よろしくお願ひします。

花輪参与 本当に熱心な議論を拝聴いたしまして、大変勉強になりました。時間も時間ですので、簡単に、1点だけお話をしたいのですが、先ほどから、老人いこいの家、老人福祉センター、あるいはこども文化センターというお話が出ておりますけれども、本来、公共施設というのは、その地域のために使い勝手がよくなければいけないのではないかなと思います。そういった意味で、まだまだ認知度が低いとか、いろいろな制約があるというのは、これはいかがなものかなと常々思っております、議会の中でも取り上げさせていただいております。また、老人という言葉は正直言って死語になっていますね。全部役所の機構も高齢者という名前になっておりますし、そういう部分で、これは本来であれば愛称ではなく、名称そのものを変えたほうがいいということも思うのですが、いずれにいたしましても、もっともっと地域の公共施設の有効活用という、そちらのほうも議会の中でも取り上げながら、これからはっきりとやってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

西谷委員長 ありがとうございます。

山口参与、お願いします。

山口参与 皆様、お疲れさまです。麻生区区民会議というところで多種多様なことが議論されて、私は本当に楽しい今年1年間でした。各区あるのですけれども、麻生区は特に川崎の市庁舎、本庁がとても遠いからなおさらのこと、この区役所がよりどころになっているところがあるので、ぜひこの区役所の情報発信のところをもっと行い、区役所に来ると何でもわかるとか、そういうふうになっていくといいなと期待しています。また、この区民会議でやっていることをもっともって考えていかれるといいなと思っています。今、花輪議員もおっしゃっていましたが、公共施設の利用という点では、学校はかぎがかかってしまいましたけれども、そうではなくて、子供たちを守っていくに当たり、人は塀で守るのではなくて、人で守るということを前提にいろいろな人と人とのコミュニティーをつくっていくというところをもっともって広げていけたらいいなと私は思っております。お疲れさまでした。

西谷委員長 ありがとうございます。

磯野区長、何かありませんか。

区長 本当に熱心な議論、ありがとうございます。麻生区の区民会議のすばらしい特徴といいますか、区民会議というと、比較的机上での調査審議が主力になってしまうのですが、麻生区の場合には、委員の皆さんがまさにモデル的に事業を行って、それを検証して提言し、課題解決に結びつけていこうということで、要望型ではなくて、非常に実践的で解決型ということを非常に強く感じております。これから来年3月にかけて、いろいろな報告の素案がまとまって、具体的な提言が出てくるのではないかと思います。私も特に注目しておりますのが、地域交流部会におけます「あいさつが交し合える地域づくり」の事例集です。これは今地域におけるコミュニティーというのが希薄でありまして、先ほど飯塚会長からもお話がありましたけれども、何とかこの事例集をもとにして、町会、あるいは自治会、地域のコミュニティーの活性化を図れないか、それは新年度の麻生区としての大きな課題ではないかと思っております。

それから、いま1つ注目しておりますのが、麻生区のエコカルテです。今、地球温暖化防止といいますか、対策がいろいろ全市的にも言われているのですが、麻生区としてテーマにもありますとおり、エコのまちあさお、それをつくっていこうということで、なるべく身近な地域とか、家庭で、どうやってエコ活動に取り組んでいこうかということが1つのテーマではないかと思っております。このエコカルテというのは、1つには小学校の学習用として使われるわけではありますが、非常に多くの豊かな情報が入っていますので、それを区のほうとしても、新年度で脚色しまして、もう少し、今度は一般市民向けに広報していくといいですか、逆に区民の方から、うちでは

こんなことをやっているよという提案を受けたりすることによって、双方向性をつけて、麻生区における区民の方のエコ意識の高揚を図っていこうと思います。そのためには、小さな取り組みというのが1つ1つ積み重ねられれば、大変大きな力になると思いますので、ぜひ具体的な提言をいただき、区としても実践し、今度は区民の皆さんが実践するという形で実行していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

西谷委員長 ありがとうございます。

4 閉 会

西谷委員長 大変長時間、ご審議ありがとうございました。また、議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

これで第7回麻生区区民会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。
(拍手)

午後5時12分閉会